

令和5年度第1回大石田町総合教育会議議事録

開催日時	令和6年1月19日(金) 午前10時00分～午前11時20分
開催場所	役場 庁議室
出席者	町長 庄司 中 教育委員会 教育長 本多 諭 職務代理者 井上 清 委員 鈴木 善巧 委員 戸田 香 委員 庄司 佳奈
事務局出席者	小林教育文化課長、高畠主任指導主事、和田学校教育主幹 小内生涯学習主幹、寺寄学校整備主査 大山まちづくり推進課長 土屋総務課長、小玉総務主幹

議事概要

1. 開会	土屋総務課長の進行で開会する。(午前10時00分)
2. 町長あいさつ	庄司町長が挨拶を行う。 引き続き、町長が座長となり、議事を進める。
3. 報告と協議	
① 小学校の統合事業について	
庄司町長	初めに、これまでの経過と決定している方針の説明をお願いします。
小林課長	<p>〈資料に基づき説明〉</p> <p>それでは、私から小学校統合整備事業について、これまでの経過と決定事項について説明させていただきます。皆様のお手元に配布させていただいております「大石田町立小学校統合に向けて」に沿って説明させていただきます。初めに、町の教育全体目標を「誇りと絆と向上心を育む大石田学園」虹色の光きらめく子供たちの育成を目指してとしております。基本方針の柱に誇り、絆、向上心を掲げております。</p> <p>小学校の統合について、令和4年2月に各小中学校の運営協議会委員にアンケートを実施しております。その結果、統合年度について令和9年度が適切だとする方が約8割。もっと早くても良いとの回答を含めると97%の方が令和9年度までに開校することが適切と回答しています。</p> <p>また、統合の場所についてですが、7割弱の方が中学校に隣接した同じ敷地内に新築と回答しており、すぐ近くに新設を含めると8割弱の方が既存施設ではなく新設が適切と回答しております。</p> <p>一貫教育の形態については、8割を超える方が当初は小学校6年、中学校3年間の現在の形での推進を望んでおります。次のページに小中一貫併設型と義務教育学校との違いをまとめてありますので、ご覧いただきたいと思っております。</p> <p>その下になります。統合小学校開校の際は、小学校6年、中学校3年の枠組みのまま9年間を通したカリキュラムの推進を図って、義務教育学校のメリット・デメ</p>

	<p>リットを整理して、児童・生徒数や社会情勢の変化等を鑑みながら義務教育学校への移行を随時検討してまいりたいと思っています。</p> <p>統合小学校整備のコンセプトですけれども、大石田中学校と統合小学校の校舎をつなぐことによって、児童・生徒・教職員・保護者・地域の方々などの人同士をつなぎ、小学校、中学校の9年間の学びをつないで、子どもたちの成長へつなげていくことで全体目標を達成していきたいと考えております。続いて、統合小学校の概要についてです。これまでも述べましたように、開校時期については、令和9年4月、場所は大石田中学校校舎南側にある多目的コートとしております。</p> <p>統合小学校整備にかかる事業費ですけれども、令和4年の計画策定時点で約25億円です。財源の内訳としましては、補助金約8億円、起債、町の借金になりますが、こちらが約13億円。さらにこれまで積み立てた基金が約4億円となっております。起債の約13億円ですけれども、過疎債という起債になりまして、こちらは3年据え置き後、9年間で返済するものとなっております。返済に際しては、元金と利息総額の70%が交付税算入されます。つまり、実際返済するのは30%になりますので、元金3億9千万円を9年間で返済することになりますけれども、30年で返済するパターンもあるそうなので、どちらで返済するかは今後検討していきたいと考えております。</p> <p>校舎内外の配置のイメージですけれども、中学校校舎の南側に渡り廊下でつないだ2階建ての小学校校舎があり、その南側にまた渡り廊下を経まして体育館を配置しております。体育館は1階を屋内プール、2階をアリーナとしております。</p> <p>令和9年度開校時全校児童数183名のクラスは普通学級7クラス、特別支援学級2クラスになります。次に、統合小学校1校と現在の小学校3校の学校管理運営費の比較表になります。統合することによって概算で約4千万円削減できると見込まれております。最下段にプールの維持費の概算を掲載しております。光熱水費の約850万円。こちらは町が直接維持管理する場合にかかる経費で、現在考えております民間事業者へのスイミングスクールの運営なども含めた指定管理者とする場合には、光熱水費もすべて負担してもらうこととして指定管理料を協議してまいりたいと考えております。ですので、ここには1,850万円の経費となっておりますけれども、実際ここまでかかるものではないとおもっております。</p> <p>これまでの経緯を説明してまいりましたが、これらの計画策定に関しましてパブリックコメントを行い、また住民説明会を実施して、教育委員会、総合教育会議で決定し、議会等にも説明してまいりましたので、これまでの経過としては以上になります。</p>
庄司町長	ただいま説明がありましたが、ご質問、ご意見ございませんか。
本多教育長	<p>それでは私からよろしいでしょうか。12月22日に4回目の住民説明会を行いました。その時にいろんなご意見が出されました。「こういう時代なのにこんな立派な学校はいるのか」というようなこととか、「初めから考え直さなければいけないのではないのか」とか、「南小学校を大小に統合、改修して様子を見たらいいんじゃないか」とか、「物価高騰の折、金がかかるんだろからしばらく据え置いたらいいんじゃないか」とか「条例違反になっているのではないか」といったことが出されました。そういったことに関して、この総合教育会議の場なんですけれども、29日の説明会でも同じような質問が予想されますので、町としての考え方をもう</p>

	<p>一度確認しておかないといけないという思いがあります。教育委員会がすべてを行うわけではなく、最終的には町が設置をするわけですので、そういったことについての話をいただければありがたいと思います。教育委員の皆さんには、当初からずっと関わっていただいて教育委員会ですべてをやってこられてきたので、説明会でこういったご意見があったことについてお考えをお聞かせいただくとありがたいと思っています。</p>
小林課長	<p>説明会の内容については、この後説明させていただきます。</p>
庄司町長	<p>それでは、これまでの経過と決定している方針についてはよろしいですか。</p> <p>(はい)</p> <p>では、続けて説明をお願いします。</p>
小林課長	<p>続きまして、1月29日に開催される住民説明会について説明させていただきます。先ほど教育長からありましたとおり、12月22日に説明会を行いました、時間が短く意見が出しきれなかったということで、もう一度説明会を開いてほしいということでしたので、29日に開催することになりました。説明会の進め方としては、開会後に町長から挨拶をいただき、その後、教育長から統合後の教育方針を含めた挨拶をいただきたいとします。その後説明に入り、初めに寺寄主査からこれまでの経緯を説明した後に、設計業者から最近建設された学校の意匠などを紹介していただきます。そのあとに私から、年末に行った説明会でいただきましたご意見のうち、その場で回答ができなかったことに対して説明を行いたいと思います。</p> <p>説明の内容としまして、初めに、町民の方から「意見書」を出されておりますので、それに対する回答になります。全体的な趣旨は、「財政面の心配がある。また、そんなに予算があるなら、農業やほかの事業にも使うべきではないか」との内容になっておりました。この中でも、「町の年間の予算が50数億円という中で、半分程の20数億円の事業を行えば、ほかの事業ができなくなるのでは」という意見もありました。これにつきましては、町の年間予算に統合事業の予算が上乗せになりますので、ほかの事業を圧迫されるわけではありません。また、財政負担の面で、現在ある3校のうち1校を改修して統合してはとの意見もあります。新設も改修につきましてもこれにかかる費用は一般財源の持ち出しはほとんどありません。借金、起債の額に違いが生じることになるかと思っておりますが、先ほど申し上げたとおり、一般財源として返済する額3億9千万円を30年間で返済するとすれば年間1千300万円の返済になります。これに対し、現在の学校を活用する場合、起債の返済額は少なくなります、統合場所を考えた場合に水害の被害が心配される大石田小学校が除かれ、南小か北小に統合することになります。そうした場合、現在大石田小に通う児童はすべてスクールバスでの登校となりますので、スクールバスを増台しなければなりません。その台数ですが、現在の児童数や登校の班等で考えますと、6台必要になると見込んでおります。現在、10台のスクールバスを運行しておりますが、その運行委託費やメンテナンス等にかかる維持費全体は予算ベースで約3,000万円となっております、6台増加しますと年間で1,800万円の負担増になります。この経費につきましても一般財源となりますので、町の負担としては、逆に現在の校舎を使った方が大きくなってしまおうかと思っております。</p> <p>また、他の事業に使うべきではないかとの意見に関しましては、整備費用25億</p>

円の内訳が、補助金、交付金、学校整備枠の起債、積み立てた基金となりますので、他の事業に使える予算はほとんどありません。学校整備にのみ使える予算になります。

その他の意見としましては、大石田町学校統合整備委員会設置条例というものが、この設置条例に基づいて委員会で議論していないのは条例違反になるのではないかとの意見がありました。その件についてですけれども、この条例の目的としまして、第1条に「大石田町小中学校の規模及び学級の適正化に努め、教育の向上を図るため大石田町学校統合整備委員会を置く」と規定されております。この中の小中学校の規模、学級の適正化ということに関しましては、町内の学校数や統合することでの学級数の方針でありまして、学校の統合時期や場所、校舎の広さや内容を助言する委員会ではないと解釈されます。町及び教育委員会として、将来的に3校から1校にするという方針は既に定まっております、1校にするという方針に変更は生じないため、今回この委員会は設置しておりません。実際、小学校を7校から3校に統合した際にも将来的に1校にするという方針に変更がないため、設置されておりました。

また、この委員会が地方自治法に規定する諮問機関であるとの意見もありました。これにつきましても、条例第2条で委員会の業務が規定されておまして、小中学校統合整備に関する助言、啓発及び趣旨の徹底、実施の推進と規定されております。諮問機関は、地方自治法第202条の3第1項に規定する附属機関といわれるものになりますけれども、附属機関が行うべきことは、調停、審査、審議又は調査等をするものとされております。これらの文言が条例の中に一切ないことから、条例で定めているといえども、この委員会については附属機関とはいえ、上位法で設置が定められているものでもありません。また、条例には諮問するとの文言が規定されておられません。このため、本委員会で議論していないことが条例違反になるものではないと解しております。

また、住民の意見を十分聞いていない。住民軽視で進めているのではないかとの意見もありました。これにつきましては、多くの意見を取り入れるため、学校関係者、保護者、地域住民、行政など40名の委員で構成する大石田学園づくり委員会を設置しまして、意見を聞きながら進めてきております。また、令和4年12月にパブリックコメントを実施したり、令和5年6月には学区ごとに計3回の住民説明会を開催したり、役場や虹のプラザなどでの情報掲示、町報等での周知など様々な形で情報発信を行っており、意見を述べる場はこれまでも広く設定しております。

次に、屋内プールの必要性についてのご意見についてです。敷地の関係でプールは屋外ではなく体育館の1階に設置することとしております。これは、通年使用できるような温水プールにするか、夏場のみ使用する形のプールにするかの選択になるわけですが、温水プールにした場合、民間事業者を指定管理者として、スイミングスクール等の一般開放利用もできるように考えております。その場合、民間事業者で光熱水費も負担してもらい、利用者から会費や利用料を徴収して経費に充てるような運営をしていただくことで、維持管理費を削減できないか検討しているところです。そうした場合の利点として、維持管理費の圧縮のほかに、学校の先生方のプールの維持管理に関する労力の削減、水泳の授業をインストラクターから行ってもらふことによる子供たちの水泳技術の向上が図られるものと期待しております。

	<p>ます。</p> <p>なお、指定管理者となり得る民間事業者と現在調整を行っておりますけども、指定管理料などの経費負担につきましては、まだ検討しておりません。民間事業者との調整がつかず自主管理になる場合や、現在行っております一般開放した場合のニーズ調査の結果を踏まえまして、温水プールを断念して夏場のみの使用とすることも視野に入れております。</p> <p>以上の内容を 29 日に開催を予定している説明会で説明する予定ですので、ご審議方よろしく申し上げます。</p>
庄司町長	<p>ただいまの説明について質問、ご意見ございませんか。</p>
井上職務 代理者	<p>まず、プールのことに関してですけども、町外の方の利用を数字で見込むことは難しいと思いますが、町外の方の利用もあると思います。そういったことも踏まえて、できれば通年型の温水プールにしてほしいと思います。</p> <p>それから、説明会では様々な意見があったようですが、反対意見も当然あると思います。小学校 7 校を 3 校にしたときには、私は教育委員会の委員をしていたのですが、横山小学校が一番大変でした。横山の子供が田沢よりも多いのになぜ田沢小学校に行かなければならないのかといった話や、横山本郷だけでも大石田小学校に通わせてはという話などもありました。自宅に来られたりもしてかなり大変な思いをしました。その時に比べたらこの度の説明会での話は、説明すればわかっただけのような内容ではないかと思います。これまで膨大な時間と労力をかけてここまで来ています。私は教育委員になって 16 年ですが、この間、学校統合が一番大きな案件で、最初の総合教育会議で私は早く小学校を 1 校にしてほしいとの意見を述べています。時間と労力をかけてここまでしているわけです。このままの案で進めていかないと 9 年度の開校に間に合わなくなりますので、今度の説明会でも丁寧に対応していただいて、何とかこのスケジュールで進めていただきたいと思います。</p>
小林課長	<p>プールについては町外の方にも利用していただきたいと思いますが、町外の方のニーズの把握方法は検討しておりませんで、まずは町内の方のニーズ調査を行いたいと思います。町外の方のニーズ調査は検討していきたいと思います。</p>
井上職務 代理者	<p>基点のプールにも東根市や大石田町の方もいました。村山市以外の方が半分くらいいましたので、そこまではいかないにしても、それなりの方に来ていただけないかと思います。プールは歩くだけでもかなりの運動になります。特に冬は外を歩けないのですが、運動したい人は結構いると思うので、需要はあるのではないのでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>プールに対しての意見が多く出されるのではないかと思います。アンケートを取ったと思いますが、子供たちへのアンケートは行ったのでしょうか。</p>
小林課長	<p>2 年生と 5 年生には筆記形式でどのような学校を作ったらいいかという意見をいただいております。</p>
鈴木委員	<p>説明会の内容を聞いていると主体がずれているのではないかと思います。本来子供が主体であるべきで、ほかからも入りたいと思えるような魅力ある学校を作るという方針にみんなで協力してもっていかないといけないと思います。プールに対しても様々な意見が出てくると思いますが、今の時代、南小や大小のように女子児童の水着姿を誰でも写真が撮れるようなプールはどこに行ってもありません。保育園</p>

	<p>できえも屋上にあります。ですので、プールを囲うということが大切なことではないかと思ひます。ですので、屋内に設置することはいいことだと思ひます。ただ、夏場だけの利用だと冷房設備がないと暑くて大変だと思ひます。</p>
小林課長	<p>夏場だけの利用の場合は、もう少し開放的な壁になるかと思ひます。</p>
鈴木委員	<p>私のところの児童館でも東根のプールに通っている方がいます。OBの方も水泳の指導に携わっている方もいますので、そういった方を活用する方法もあると思ひます。</p> <p>町外の方の利用ということですが、以前、尾花沢市に民間のスイミングスクールがありましたので、市外の方がどれくらい利用していたのかは把握できるのではないかと思ひます。人口が減少しているので、同じにはならないと思ひますけども、数字を調べておくことも必要ではないかと思ひます。</p>
井上職務代理者	<p>当時、保育園でも尾花沢市のスイミングスクールに園児を連れて行っていたと思ひます。</p>
戸田委員	<p>私の周りのお母さんたちも、学校統合にはすごく関心を持っている方がたくさんいると感じています。賛否両論があるようですけども、大石田町のいいところはどこかで住みやすいところだと思ひます。温水プールがある素敵な学校ができたなら、大石田町に住んで子供を育てたいと思う若いお母さんたちがたくさん出てくるのではないかと思ひます。温水プールやパブリックゾーンとプライベートゾーンを分けたような、これからの時代に合った学校を作ることによってたくさんの人たちが大石田町に住んでみたいというようなことが出ていたらいいと思ひます。そういうところを町民の方にも協力していただけたらと思ひます。</p>
庄司委員	<p>プールの件ですけども、私も小学生と保育園児を育てている中で、プールに通わせたいという思ひはあるのですが、尾花沢市にあったスイミングスクールがなくなってしまったので、東根まで通わせるとなると大変になると思ひます。ですので、小学校に温水プールがあると子供の体力づくりにも使えると思ひます。昔は、保育園でもスイミングスクールに連れて行ったということは初めて聞きましたが、保育園でもプールをらせるのではないかと思ひます。大石田保育園にはプールがありますけども、ふたば保育園は組み立て式のプールになりますので、保護者の負担軽減にもなるのではないかと思ひます。</p> <p>子供たちが通いたい、親御さんたちもこの学校に通わせたいと思えるような学校を作ればと思ひますので、そのように話をまとめていただければと思ひます。</p>
小林課長	<p>今計画している学校の形にほぼ賛成していただいているととらえたうえでのはなしになりますが、私たちもこういった学校を整備することによって、子供たちも楽しく通えるし、保護者も安心していただけたらと思ひています。子供をこの学校に通わせるために大石田町に住むという方も出てくるかと思ひます。この学校があることで町外への転出に少しでも歯止めをかけられればなおいいかと思ひます。前回の説明会でも、人口が減少する中でとの意見がありましたけども、この学校があることによって、人口減少に少しでも歯止めをかけられればと思ひますので、29日の説明会ではその点も説明してまいりたいと思ひますので、ご協力をお願いしたいと思ひます。</p>
本多教育長	<p>22日の説明会で根底から覆すような意見がでてきました。これは予算に絡むことですから、致し方ないことですが、将来3千人になるから新たに建てなくもいいと</p>

	<p>いうことではないと思います。今いる子供たちも大事にしていかなければならないですし、これから生まれてくる子供たちをいかに大石田町で育てていくかということを考えなければならぬのではないかと思います。3千人になったとしても170人の小中学生がいるという推計も出ておりますので、本質に見据えて進めていく必要があると思います。</p> <p>当初の計画では、平成30年に統合になる予定だったのですが、平成29年の総合教育会議で統合は時期尚早ではないかとのことで先送りになりました。そこから6年経っているわけです。令和9年に開校すれば平成30年から約10年経過することになるわけです。状況を判断して待つてここまでできた計画です。統合は1年や2年でできません。拙速な統合をすると被害を受けるのは子供たちなので、5年という期間でここまでできているわけです。29日の説明会の際には一貫教育のメリットを最初に述べさせていただき、ご理解をいただけるように進めていければと思います。</p>
小林課長	<p>先ほど教育長から話があった人口が3千人になる件ですけれども、国立社会保障人口問題研究所が公表している、2050年の大石田町の人口推計は3,082人です。人口が3,082になったとしても、14歳以下の子供たちが173人いるということになっております。173人いるということは、単純計算で、1学年当たり10人以上いることとなります。そうすると複式にならないので空き教室が出ないこととなります。ですので、空き教室については向こう25年は問題にならないと考えられます。中学校については、各年代が10人程度ですと30人から40人になりますが、それでも3クラス必要になりますし、小学校のクラスすべてを中学校の空き校舎に入れることも不可能です。2025年まで待たないと空き教室が多く出てこないで、そこまで統合を待つということもできないということも説明させていただきたいと思ます。</p>
鈴木委員	<p>先ほど子供たちにアンケートを取ったとの話がありましたが、どのような回答があったのでしょうか。いいアイデアを出して学校を作ったら魅力あるものになると思います。プールの運営を外部に任せることになると一般の方も来るわけですので、ただ泳いで帰るだけではなくて、土曜日だけでもモスのワゴンなどを設置したりしてもいいのではないかと思います。</p>
井上職務代理者	<p>キッチンカーを並べるようなこともいいのではないのでしょうか。</p>
本多教育長	<p>価値観がだいぶ変わってきているのでいいと思います。</p>
小林課長	<p>子供たちのアンケートの件ですが、2年生は色々夢のあることを書いています。昆虫を飼える場所があるといいとか、ゲームセンターがほしいとか、お手伝いロボットがあるといいといったことを書いていただいています。5年生はウオーターズライダーや雨天練習場、集中できる場所、広いトイレ、点字ブロック、大きなスクリーン、ゲームができる部屋、ナイトプールなどいろいろな意見がありました。どのような学校にしたいかという、楽しい学校、明るい学校、いじめのない学校、みんなが元気な学校、みんなが楽しめる学校、最先端の学校など楽しい場所にしたという意見を持っているようです。</p>
鈴木委員	<p>田舎なので田舎のものを活かしていくということも大切だと思います。</p>
本多教育	<p>ビオトープや築山なども計画しています。</p>

長	
庄司町長	<p>ご意見ありがとうございます。12月の説明会では様々なご意見をいただきましたが、私は町づくりの根本は教育だと思っています。自分たちだけがよければいいということではなく、子供たちのことを考えれば、未来への投資をしっかりとしていかなければ、次世代を担う子どもたちは育っていかないと考えております。統合して特色ある学校になればいいのではないかと考えています。例えば、プログラミングにつよいつか、たくさんのインバウンド客が来られていますけど、ガイドできるような姿を想像すると素敵な町になるのではないかと思います。eスポーツであったり特色のある学校になると、大石田町にこんな学校があるから住んでみようと思住してくる方もゼロではないと思います。説明会では前町長と同じようにしなくてもいいのだからいったん立ち止まれという意見もあったのですが、町づくりの根本は教育だと思っていますので、現在の案で進めていければと思っています。</p> <p>それでは、すでに決定している方針のとおり、小学校統合整備事業を進めるということでご異議ございませんか。</p> <p>(全委員：異議なし)</p> <p>ありがとうございます。それでは現在の方針で小学校統合整備事業を進めてまいります。</p>
② 町振興実施計画（教育分野）について	
庄司町長	次の振興実施計画について説明をお願いします。
大山課長	<p>〈資料に基づき説明〉</p> <p>説明内容は省略</p>
庄司町長	ただ今の説明に対して、ご質問、ご意見ございませんでしょうか。
庄司委員	冬にクロカンの授業を行うと思いますけども、今回スキーの授業をするに当たって準備を行ったわけですが、学校でもスキーのリサイクルがあるとはいえ、ちょうどいいサイズがありませんでした。新規購入となると数万円するわけですが、1月から2月までの1か月間しか使わないので、それに数万円となると負担が大きいと思います。子供は成長するのですぐサイズが合わなくなりますので、そういったことに対する助成はないのでしょうか。
小林課長	現在、スキーの購入に対する補助はありません。ただ、保護者の負担が大きいことは承知しております。1か月間しかスキーの授業は行わないにもかかわらず数万円かかる。さらには3年生ぐらいでクラシカルからフリーに変わると板も変えないといけないなど、負担が大きいので、現在各学校で取り組んでいるリサイクルについては、北小と南小でうまく回っていないようです。個人間でのやり取りが多いというご意見をいただいております。今年度は間に合わなかったのですが、来年度から小学校間で連携したリサイクルができないかという案が出ております。金銭的な補助は現在のところ難しいと考えております。
庄司町長	よろしいですか。他にございませんか
井上職務 代理者	資料1ページのスクールバス維持管理料が5千万円弱あるのですが、これは委託料ですか。
小林課長	委託料のほかメンテナンス費用も含んでいます。

井上職務 代理者	今あるスクールバスにドライブレコーダーは付いていますか。
小林課長	はい、付いています
本多教育 長	子どもスキルアップ推進事業について少し詳しく説明をお願いします。
小林課長	令和7年度からの実施を予定している事業ですが、子供たちの習い事に対して、月額5千円を上限として補助するものですが、小学生、中学生だけではなく、年少児から15歳までを対象にするものです。
井上職務 代理者	習い事はどのようなものが対象になるのですか。
小林課長	スポーツ少年団や塾など幅広く対象にしたいと考えております。部活動の保護者会費なども対象にできないか検討しております。スイミングスクールができればこの制度を活用して通わせていただければ、利用者が増えていいのではないかと考えております。
本多教育 長	よろしいでしょうか。これまで一括した教育というものもあったかと思いますが、それぞれの子どもたちの可能性を引き出すためには、何が自分に合っているのか、何がやりたいのかという選択するものに対して補助がいただけるという事業になると思います。家庭教師であったり、自分の可能性を延ばすためにやっていることはすべて認めていくという制度設計をこれからしていくことになると思います。この事業についてもご意見をお伺いできればと思います。
小林課長	県内で同じような事業を行っている自治体はないようです。
庄司委員	家庭教師も対象にしたいということでしたが、通信教育なども対象になる予定でしょうか。
小林課長	子供のスキルアップに関わるものであれば対象にしたいと考えております。ただし、支払いを証明できるものを準備していただくことになろうかと思っております。なるべく使いやすい制度にしたいと思っております。
井上職務 代理者	月5千円を上限にするということでしょうか。
小林課長	はい、一人当たり月5千円を上限にしたいと考えております。例えば、月3千円と月2千円の月謝がかかるものがあれば、両方とも対象にしていきたいと思っておりますし、月7千円であればそのうち5千円を補助する制度にしたいと考えております。使う方が使いやすいようにしていきたいと思っています。
庄司町長	私からいいでしょうか。令和8年度に歴史民俗資料館の駐車場造成が計画されておりますけども、場所はどこを予定しているのでしょうか。
小林課長	いこいの家跡地を予定しております。現在砂利敷になっておりますので、舗装して資料館の駐車場にしたいと考えております。資料館が目立たないところにあり、駐車場もありません。大型バスが資料館まで入ってくると出るときに大変なので、そういった点も含めて整備したいと考えております。
庄司町長	資料がたくさん集まって保管する場所がないと聞いていますけど、大丈夫でしょうか。
小林課長	資料館併設して建物を整備することは難しいので、管理に関してあまり気を使わなくてもいいものについては、旧鷹巣小学校の校舎などに保管して、収蔵庫は空け

	ていくような工夫をしていく必要があると思います。
本多教育 長	小学校の統合が進むと空き校舎が出てきますので、利活用を検討する際にもそう いったことも入ってくるかもしれません。
③ 町の教育行政全般について	
庄司町長	続いて、町の教育行政全般についてですが、説明する案件はありますか。
小林課長	特にございませぬ。
庄司町長	委員の皆さんから何かございますか。
鈴木委員	資料館の入館者数は何人くらいですか。
小林課長	年間約2千人です。
庄司町長	私からよろしいでしょうか。先日、北村山高校の校長先生が見えられて、入学者 数が激減しているという話をされていきました。現在、3年生は2クラスですが、 1, 2年生は1クラスずつだそうす。1年生は29人だそうすで、何とか2クラス にしたいというような話でした。10年ほど前までは大石田中学校からも2割程度 の生徒が入学していたようすですが、徐々に減少して1桁という状況が続いている状 況だそうす。そういった状況の中で、様々なボランティア活動を北村山高校とタイ アップして行っているわけですが、それもできなくなる状況になりかねないとい うことす。部活動も1番有名だったスキー部も今はゼロだそうす。ハンドボー ルも女子がゼロで、男子も2名しかいないという状況で、このままだと存続も危ぶ まれるということす。何ができるかということになりますか、なかなか難しい のではないかと思います。
鈴木委員	私立が学費を下げたので、それによって人気が出てきている高校が惺山高校 で、生徒がやりたいことをさせるということもあり、生徒の目に魅力的に映るのだ と思います。やはり魅力がないと難しいのではないかと思います。
庄司町長	地域の課題として、教育委員の皆様にもお考えいただければと思います。以上で、 報告と協議を終わります。
土屋課長	4のその他ですが委員の皆さんから格別ございませぬか。事務局からもございま せぬので、これを持ちまして総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。
5. 閉 会 (午前11時20分)	